

スクールライフ

1日の流れ

	月	火	水	木	金
～8:30	とうとう				
8:35	あさのかいとうばん				
8:50					
1 9:30	こくご	たいいく	こくご	せいいかつ	こくご
9:40					
2 10:20	たいいく	さんすう	しゅしゃ	さんすう	さんすう
10:30					
3 11:20	なかやすみ				
10:40	おんがく		こくご	こくご	おんがく
11:20		ずこう			
11:30			せいいかつ		
4 12:10	さんすう		こくご		えいかいわ
	きゅうしょく ひるやすみ				
13:10					
5 13:50	こくご	ファミリア	ファミリア	ファミリア	こくご
14:00					
6 14:40	さんすう	ファミリア	ファミリア	ファミリア	たいいく
14:50					
15:00	どうとく	ファミリア	チョイス	そうかい いんかい	がっかつ
～16:00	せいそう・かえりのかい				
16:10	げ　　こう				

A photograph showing two young girls in school uniforms (white shirts with blue collars and dark skirts) standing next to a small brown pony in a stable. One girl is holding the pony's lead rope. The background shows stable equipment and a wooden structure.

年間行事

アクセス/スクールバス



学校説明会・出願・入学考查日程



Tel 029-830-2311/ Fax 029-833-2811

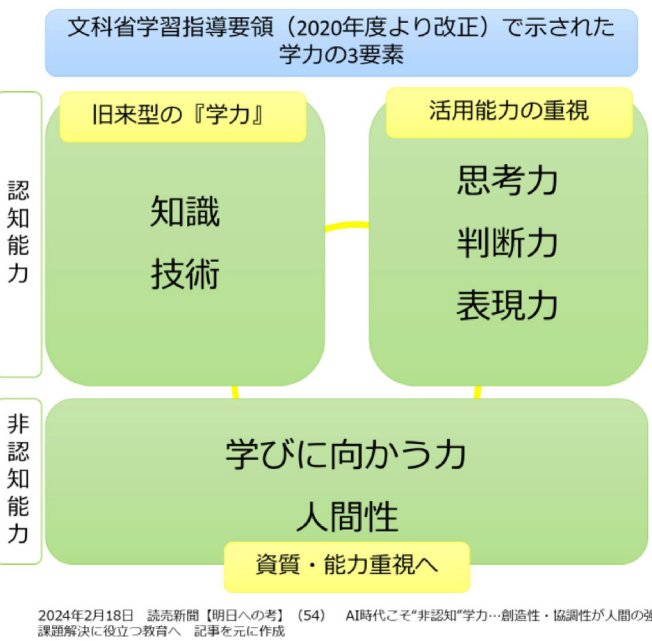


ご不明な点はWebやお電話でお気軽にお問い合わせください。TEL 029-830-2311 学校HPはこちら

子どもたちが自らを「幸せ」だと思えるために

青葉台初等学部では2009年創立以来『子ども主体の教育』を徹底し、自由な教育を取り入れながらも文部科学省の学習指導要領を満たす**独自のカリキュラム**で、子どもたちが「生まれてきてよかった！」と思えるような学校生活を保証しています。特徴的な教育活動を通じて、しっかりと目標を持ち、主体は自己であるという自覚をもち、生きている自分が幸せだと思えるように学校生活を充実させています。

【学校法人塚原学園 沿革】
1977年 学校法人塚原学園設立/あおば幼稚園設立
2009年 青葉台初等学部設立（茨城県南エリア初の私立小学校）
創立者 塚原 港



子どもたちがこれから生き抜いていくのは「予測不可能（VUCA）の時代」と言われています。旧来型の「学力」をつけさせる教育工場のような学校像は変化を求められ、2020年には文科省の学習指導要領も改訂されました。その中では学力の3要素として、知識等を中心とした学力とその活用力を重視するだけでなく、学びに向かう力や人間性などの『非認知能力』についても言及されています。

特に幼稚園・小学校教育においては、学力の土台になる非認知能力を培うことが重要です。豊かな体験学習やチームで取り組むプロジェクト等の経験の中で、深く思考し、失敗を乗り越える体験をしたかどうか、その後の「学びに向かう力」を左右します。

青葉台初等学部での学びは、「生きることの基盤」のために何を学ぶかということが教育の根源にあるという考えから、体験を重視し、子どもたちが主体的に身近なことに関心を持ち、学びに向かう姿勢を応援しています。

青葉台初等学部の教育の特色

青葉台初等学部では「子どもたちが幸せになる学校」の実現を追求し、生活教育の第一人者久保田浩先生・筑波大学の杉原一昭先生（教育心理学者）に学び、独自のカリキュラムを開発しました。『自立』・『創造』・『協調』を教育理念に掲げ、どのような時代の中でも主体としての自己を確立し、豊かな人間関係の中で幸せを分け合える子どもを育てています。

教科学習

少人数・異学年の学びあう集団作りと子ども1人1人に寄り添う指導



学校設定科目（独自科目）

自己決定・体験・対話を実践する学校のオリジナル科目

- ✓ [ファミリア](#)
- ✓ [青葉台集会](#)
- ✓ [チョイス（選択授業）](#)
- ✓ [子どものための哲学講座](#)

ファミリア

異年齢チームでの探究学習

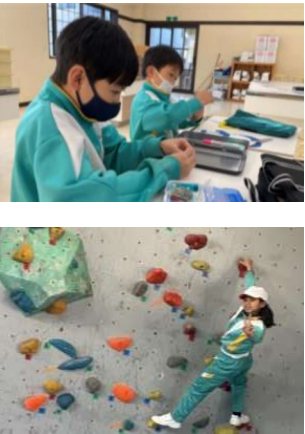
幸せで健康的な生活を送るために欠かせない生活の基盤である「衣食住」から学びを深め、子どもたちが自分でテーマを設定し探究するのがファミリアです。一人ひとりがテーマを設定し、学年縦割りのチームに分かれて探究活動に取り組みます。多くの体験を通して疑問を持ち、それらを自らの力で解決し、研究発表を行います。



チョイス

「やりたい」に挑戦する選択授業

「学ばなければならない勉強」ではなく、「自分がやりたいこと」を軸にした選択授業です。年間3期に分かれ、4か月ごとにサイエンス教室やアート、ボルダリング、伝統芸能などの様々な授業から自分のやりたい授業を選択します。子どもたちは「自分のやりたいこと」に向き合い、夢中になって未知の世界に挑戦しています。



青葉台集会

児童による課題解決機関

学校生活をより良くしていくための課題は「子どもたちによる」「子どもたちのための」青葉台集会で検討します。この活動では、子どもの自主性や創造力を尊重し、1年生から6年生までの全ての児童が平等に意見を出し合います。それぞれの意見の違いに触れ、多様性を認め合いながら課題解決を模索していきます。



哲学講座

問い続けるタフな思考力

子どもの純粋な疑問こそが世界の不思議を気付かせ、思考の楽しみを開いてくれる—それを助力するのがP4C（Philosophy for Children/子どものための哲学）です。本校理事である一ノ瀬正樹先生（哲学者・東京大学名誉教授/武蔵野大学教授）と共に、1人1人の多様な考えを傾聴しながら「誰も答えを知らない」問題を深く考えます。



よくある質問

Q 土曜日授業はありますか？
ありません。授業は月曜～金曜までです。
年に数日、土曜日に行事があることがあります。

Q 制服はありますか？
男女とも夏服・冬服の制服があります。式典と通学の際に着用します。

Q 通学カバンは指定ですか？
通学カバンの指定はありません。ランドセル、リュックサックなど華美でないものをご用意ください。

Q 学校給食はありますか？
月曜日から金曜日まで毎日あります。週に3日は校内で調理し、週2日は系列の幼稚園で調理したものが届けられます。ファミリアで育てた農作物がメニューになることもあります。学校行事によっては、お弁当の持参をお願いしています。

Q 入学後の短縮授業（慣らし期間）はありますか？
入学後、次の登校日から朝から午後の授業までの通常日課が始まります。4月は小学校の基本的な生活習慣を学びながら、「学校は楽しくて安心できる場所だ」と感じられるよう、友達や上級生との触れ合い、外遊びを多く取り入れて伸び伸びと生活していきます。

Q どのような方法で通学できますか？
つくば市方面、常磐線駅方面（土浦駅・荒川沖駅・ひたち野うしく駅）の2ルートで通学バスを運行しています。また保護者による車送迎で通学する児童もいます。

Q 入学検査はどのような内容ですか？
入学検査は親子同席の面接を行っています。20分程度で、幼稚園での様子・小学校入学後にやりたいこと、ご家庭での様子や本校への志望動機を伺います。学力検査や行動観察はありません。

Q 放課後の預かり制度はありますか？
在校生を対象に、18:00までの児童預かりがあります。

Q 卒業後の進路を教えてください
過去5年間の傾向では全体の8割程度の方が、土浦日大中等教育学校や茗溪学園などの私立中学校に進学しています。

